

平成24年度 室内環境学会東北支部 活動報告

東北支部長 野崎淳夫（東北文化学園大学大学院）

東北支部では、平成19年度から日本建築学会東北支部や室内環境学会燃焼器具分科会と連携した実測調査活動を行っている。平成23年度年度は震災の影響で活動開始が遅れたが、仮設住宅における実測調査を日本建築学会震災関連住宅における健康影響の低減対策に関する緊急研究委員会（委員長 吉野 博 東北大学教授）の傘下で行い、室内空気質の実態把握に寄与する活動を行った。

また、原発事故による放射能汚染について、日本建築学会東北支部環境工学部会放射線環境WGとの連携を図り、郡山市において空間放射線量率の測定を行い、空間放射線量率を有効に低減させ得る「除染技術」についての検討を行った。

主たる活動内容は以下のとおりである。

- 1) 仮設住宅における室内空気環境の実測調査
- 2) 放射能汚染の実態把握と除染技術についての検討
- 3) 他分野との交流
- 4) シンポジウム等の検討